

10月1日(土)・大会1日目 10:00~11:20 (D会場: 1101) (80分)

●セッション【4】

「『組織科学』編集委員会セッション：論文投稿の活性化に向けて」

* 立本博文

(『組織科学』編集委員長; 筑波大学 ビジネスサイエンス系 教授)

西村孝史

(『組織科学』編集委員; 東京都立大学 経済経営学部 准教授)

* セッション・リーダー

〔概要〕

『組織科学』に投稿される自由論題論文は年間で約30本、採択率は約25%程度であり、掲載数は8本前後という状況にあります。他の学会誌と比べて、必ずしも掲載数が少ないわけではないものの、安定的に少なくとも年間10本程度は自由論題論文を掲載していきたいと編集委員会では考えています。今回の編集委員会セッションでは、投稿論文数の増加および採択率の向上のための施策(検討中のものも含めて)についてご案内する予定です。

具体的には、(1)編集委員会の活動内容(投稿規定の変更など)、(2)CFPの案内、(3)リジェクトレターのテキスト分析の報告、を主な内容としています。自由論題論文と同様に、CFPの活性化も編集委員会では重視しています。直近では、「若手CFP」(第17回; 2022年12月31日締切)と「ビジネスモデルの研究」(第18回; 2023年5月31日締切)という投稿者が多く見込まれるテーマを設定しました。また、編集委員の西村孝史先生(東京都立大学)から、SEダブルリジェクトになった論文のリジェクトレターをテキスト分析した結果をご報告いただきます。この分析結果から抽出した投稿時の注意点について言及していただきます。

〔参加者へのメッセージ〕

『組織科学』の編集体制についてのご質問やご意見などがありましたら、当日、議論に参加いただけます。事前に編集委員会にお知らせいただければ、当日回答いたします。奮ってのご参加、よろしくお願いいたします。